



## 2026年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社エイチワン 上場取引所 東  
 コード番号 5989 URL http://www.h1-co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真弓 世紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 宮本 泰二 (TEL) 048-643-0010  
 事業統括本部 経理財務担当  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	209,659	△8.1	14,648	23.5	15,270	41.0	12,417	7.4	10,974	2.3	19,282	83.5
2025年3月期	228,145	△2.0	11,860	—	10,827	—	11,560	—	10,728	—	10,505	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後1株当たり 当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	390.06	386.55	15.3	8.0	7.0
2025年3月期	382.82	377.89	18.0	6.0	5.2

(参考) 持分法による投資損益 2026年3月期 1,072百万円 2025年3月期 554百万円

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	205,407	82,919	79,391	38.7	2,820.58
2025年3月期	178,534	65,541	64,000	35.8	2,281.30

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	28,599	△23,851	△4,846	22,341
2025年3月期	21,079	△13,149	△7,338	19,310

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	13.00	—	37.00	50.00	1,419	13.1	2.4
2026年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00	1,817	16.4	2.5
2027年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		17.9	

## 3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	230,000	9.7	16,000	9.2	15,000	△1.8	11,000	0.2	390.80

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社 (社名)KTH Texas, Inc. 、除外 1社 (社名)肇慶愛機汽車配件有限公司
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更  
 ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

	2026年3月期	28,392,830株	2025年3月期	28,392,830株
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	245,701株	2025年3月期	338,504株
② 期末自己株式数	2026年3月期	28,135,299株	2025年3月期	28,025,208株
③ 期中平均株式数				

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2026年3月期末243,700株、2025年3月期末 336,600株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式の期中平均株式数(2026年3月期255,597株、2025年3月期 365,792株)が含まれております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	63,897	10.1	6,130	5.4	7,894	36.8	5,609	25.5
2025年3月期	58,028	△0.6	5,815	29.4	5,772	8.8	4,468	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	199.39		—					
2025年3月期	159.45		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2026年3月期	75,169		38,301		51.0		1,360.75	
2025年3月期	77,467		34,815		44.9		1,241.00	

(参考) 自己資本 2026年3月期 38,301百万円 2025年3月期 34,815百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結財政状態計算書 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結持分変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済の情勢は、米国の追加関税の適用や通商政策の不確実性があったものの、インフレの鎮静化などを背景に総じて底堅い成長軌道を維持しました。

自動車業界においては、世界的に自動車販売台数は堅調に推移しました。パワートレイン別では、電気自動車(EV)の成長スピードが一部地域でスローダウンし、ハイブリッド車等が実用的な選択肢として再評価されるといった多様化も見られました。

このような環境下、当社グループは2024年5月に新中期経営計画として「Change 2027」を策定し、「ビジネスポートフォリオと事業構造の転換・組み換え」を企図し、グループ経営管理の強化、既存事業の採算性改善、利益率の高い製品へ選択と集中、技術・開発への資源シフトの重点施策に注力してまいりました。

そのような中での当連結会計年度の経営成績は、主として半導体供給不足の影響などにより主力得意先向けの自動車フレームの生産台数が減少したことにより、売上収益は2,096億59百万円(前期比8.1%減)となりました。利益面では、これまで推し進めてきた製造拠点および製造ラインの集約や要員適正化などの事業構造改革による効果が通年で寄与したことにより、売上総利益は327億86百万円(同3.4%増)、営業利益は146億48百万円(同23.5%増)、税引前利益は152億70百万円(同41.0%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は109億74百万円(同2.3%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの経営成績をより適切に把握するため、セグメント利益を税引前利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、文中の前連結会計年度は変更後の測定方法を用いたうえで比較しております。

#### ①日本

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前期に比べて増加したことや、設備売上の増加に伴い売上収益は638億97百万円(前期比10.1%増)となりました。利益面では、前期で一時的に計上したインド子会社の株式譲渡に係る損失がなくなったことや、構造改革による製造コストの圧縮が増収効果を後押ししたことで営業利益は50億74百万円(同78.7%増)となりました。

#### ②北米

新機種設備の売上は前期比で増加しましたが、主力得意先向けの自動車フレームの生産量が半導体供給不足の影響により前期比で減少したことなどから売上収益は1,126億82百万円(前期比2.3%減)となりました。一方、利益面では既存生産ラインの合理化や効率化、生産パターンの大幅見直しなどの構造改革の効果が利益を押し上げたことで営業利益は58億60百万円(同33.4%増)となりました。

なお、第3四半期連結会計期間からKTH Texas, Inc.を連結子会社に含めております。

#### ③中国

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前期に比べて減少したことから、売上収益は329億4百万円(前期比15.4%減)となりました。一方、利益面では、前期で一時的に計上した減損損失がなくなったことに加え、生産体制の大幅な転換、拠点集約による徹底的な製造コストの圧縮などの構造改革を進めたことで営業利益は31億43百万円(同33.7%増)となりました。

なお、肇慶愛機汽車配件有限公司については、第3四半期連結会計期間に清算を結了しております。

#### ④アジア

インド子会社譲渡影響に加え、主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前期に比べて減少したことから、売上収益は184億16百万円(前期比28.6%減)となりました。一方、利益面では製造ラインの集約などによる構造改革を推し進め、利益率の改善を加速させたことなどから営業利益は21億38百万円(前期は営業利益96百万円)となりました。

なお、前連結会計年度において、報告セグメント「アジア」を構成しておりました、当社連結子会社H-ONE India PVT., Ltd.については、2025年3月の株式譲渡に伴い、前連結会計年度において連結の範囲から除外しております。このため、第1四半期連結会計期間より報告セグメント「アジア」から除外しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における連結財政状態は、資産合計は2,054億7百万円(前連結会計年度末比268億73百万円増)となりました。これは主に営業債権及びその他の債権などが減少した一方、現金及び現金同等物、棚卸資産、有形固定資産、退職給付に係る資産などが増加したことによるものであります。

負債合計は、1,224億87百万円(前連結会計年度末比94億94百万円増)となりました。これは主に営業債務、借入金、未払法人所得税等、その他の金融負債などが増加したことによるものであります。

資本合計は、829億19百万円(前連結会計年度末比173億78百万円増)となりました。これは主に利益剰余金、その他の資本の構成要素が増加したことによるものであります。親会社所有者帰属持分比率は38.7%(同2.9ポイントのプラス)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、223億41百万円(前連結会計年度末比30億31百万円増)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは税引前利益152億70百万円、減価償却費及び償却費97億82百万円をベースに、棚卸資産の増加23億6百万円などがあつた一方、金融費用16億96百万円、営業債権及びその他の資産の減少82億33百万円などがありました。これらの結果、当連結会計年度は285億99百万円の収入となり前期に比べ収入が75億20百万円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは将来の成長に向けた有形固定資産の取得による支出259億23百万円などがありました。これらの結果、当連結会計年度は238億51百万円の支出となり、前期に比べ支出が107億2百万円増加しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入れによる収入342億42百万円があつた一方、短期借入金の減少196億21百万円、長期借入金の返済による支出168億5百万円、配当金の支払額19億38百万円などがありました。これらの結果、当連結会計年度は48億46百万円の支出となり、前期に比べ支出が24億92百万円減少となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは2024年5月に新中期経営計画として「Change 2027」を策定し、「ビジネスポートフォリオと事業構造の転換・組み換え」を企図し、グループ経営管理の強化、既存事業の採算性改善、利益率の高い製品へ選択と集中、技術・開発への資源シフトの重点施策に注力しております。他方、自動車業界を取り巻く事業環境は世界的に不確実性が増しており非常に不透明な状況であります。そのような中、当社グループは地域別に異なる市場トレンドや変化に柔軟に対応しつつ、事業体質に一層磨きをかけ、競争力を強化することで引き続き事業性の向上に注力してまいります。

2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上収益2,300億円(前期比9.7%増)、営業利益160億円(同9.2%増)、税引前利益150億円(同1.8%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益110億円(同0.2%増)を計画しております。前提となる為替レートは、1USドル150円としております。

なお、中東情勢の緊迫化などによる影響については、状況が極めて流動的であり、合理的に見積ることができないことから業績予想に織り込んでおりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、グループ内の財務報告基準の統一を通じて経営の効率と品質向上を目指すとともに、資本市場における財務情報の比較可能性を高めることなどを目的として2016年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,310	22,341
営業債権及びその他の債権	36,345	31,431
棚卸資産	26,544	31,226
その他の金融資産	819	354
その他の流動資産	3,343	3,488
流動資産合計	86,362	88,842
非流動資産		
有形固定資産	68,599	88,656
無形資産	574	527
持分法で会計処理されている投資	8,873	10,301
退職給付に係る資産	5,936	8,320
その他の金融資産	6,982	6,823
繰延税金資産	542	1,355
その他の非流動資産	662	578
非流動資産合計	92,171	116,565
資産合計	178,534	205,407

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務	23,432	26,279
借入金	41,127	23,632
未払法人所得税等	241	1,735
その他の金融負債	4,986	6,312
その他の流動負債	9,231	10,168
流動負債合計	79,020	68,127
非流動負債		
借入金	24,217	43,749
退職給付に係る負債	4,108	4,320
その他の金融負債	774	1,259
繰延税金負債	1,514	2,749
その他の非流動負債	3,358	2,280
非流動負債合計	33,972	54,359
負債合計	112,992	122,487
資本		
資本金	4,366	4,366
資本剰余金	12,914	12,920
利益剰余金	27,840	37,021
自己株式	△239	△173
その他の資本の構成要素	19,117	25,256
親会社の所有者に帰属する 持分合計	64,000	79,391
非支配持分	1,541	3,528
資本合計	65,541	82,919
負債及び資本合計	178,534	205,407

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	228,145	209,659
売上原価	△196,440	△176,873
売上総利益	31,705	32,786
販売費及び一般管理費	△17,344	△16,351
その他の収益	1,099	1,375
その他の費用	△3,599	△3,162
営業利益	11,860	14,648
金融収益	608	1,245
金融費用	△2,195	△1,696
持分法による投資利益	554	1,072
税引前利益	10,827	15,270
法人所得税費用	733	△2,852
当期利益	11,560	12,417
当期利益の帰属		
親会社の所有者	10,728	10,974
非支配持分	832	1,443
当期利益	11,560	12,417
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	382.82	390.06
希薄化後1株当たり当期利益(円)	377.89	386.55

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期利益	11,560	12,417
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	1,508	1,367
資本性金融商品の公正価値測定	△1,516	△111
項目合計	△8	1,256
純損益にその後振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△940	4,834
持分法によるその他の包括利益	△106	772
項目合計	△1,047	5,607
税引後その他の包括利益	△1,055	6,864
当期包括利益合計	10,505	19,282
当期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	9,340	17,258
非支配持分	1,165	2,023
当期包括利益合計	10,505	19,282

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	12,907	17,700	△298	2,464	3,055	14,985	20,505
当期利益	—	—	10,728	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	949	△1,516	△821	△1,388
当期包括利益合計	—	—	10,728	—	949	△1,516	△821	△1,388
配当金	—	—	△588	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	7	—	60	—	—	—	—
その他の非支配持分の増減	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	7	△588	59	—	—	—	—
期末残高	4,366	12,914	27,840	△239	3,413	1,538	14,164	19,117

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	55,181	373	55,555
当期利益	10,728	832	11,560
その他の包括利益	△1,388	332	△1,055
当期包括利益合計	9,340	1,165	10,505
配当金	△588	△2	△591
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	67	—	67
その他の非支配持分の増減	—	4	4
所有者との取引額合計	△521	2	△519
期末残高	64,000	1,541	65,541

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	12,914	27,840	△239	3,413	1,538	14,164	19,117
当期利益	—	—	10,974	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,237	△111	5,157	6,284
当期包括利益合計	—	—	10,974	—	1,237	△111	5,157	6,284
配当金	—	—	△1,938	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	5	—	65	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	145	—	—	△145	—	△145
所有者との取引額合計	—	5	△1,793	65	—	△145	—	△145
期末残高	4,366	12,920	37,021	△173	4,651	1,282	19,322	25,256

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	64,000	1,541	65,541
当期利益	10,974	1,443	12,417
その他の包括利益	6,284	580	6,864
当期包括利益合計	17,258	2,023	19,282
配当金	△1,938	△35	△1,974
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	70	—	70
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—
所有者との取引額合計	△1,867	△35	△1,903
期末残高	79,391	3,528	82,919

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	10,827	15,270
減価償却費及び償却費	9,582	9,782
非金融資産の減損損失	887	1,307
金融収益	△608	△513
金融費用	1,786	1,696
持分法による投資損益(△は益)	△554	△1,072
有形固定資産売却損益(△は益)	△154	△410
有形固定資産廃棄損	95	95
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	1,845	8,233
棚卸資産の増減(△は増加)	342	△2,306
営業債務の増減(△は減少)	△2,015	11
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	△808	△1,139
その他	2,315	△504
小計	23,541	30,448
利息の受取額	303	215
配当金の受取額	608	726
利息の支払額	△1,686	△1,604
法人所得税の支払額	△1,687	△1,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,079	28,599
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,180	△25,923
有形固定資産の売却による収入	322	2,038
無形資産の取得による支出	△44	△34
その他の金融資産の取得による支出	△138	△66
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,928	—
その他	△37	133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,149	△23,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,888	△19,621
長期借入れによる収入	13,068	34,242
長期借入金の返済による支出	△17,156	△16,805
リース負債の返済による支出	△770	△686
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△588	△1,938
非支配持分への配当金の支払額	△2	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,338	△4,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173	3,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	417	3,031
現金及び現金同等物の期首残高	18,892	19,310
現金及び現金同等物の期末残高	19,310	22,341

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車部品を製造・販売しており、「日本」、「北米」(アメリカ、カナダ、メキシコ)、「中国」、「アジア」(タイ、インドネシア)の各現地法人が地域ごと連携しながら包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「中国」及び「アジア」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントの売上収益、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

① 前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	48,439	115,425	38,557	25,722	228,145	—	228,145
セグメント間の内部売上収益	9,594	△85	345	82	9,935	△9,935	—
計	58,033	115,339	38,902	25,804	238,081	△9,935	228,145
セグメント利益(営業利益)	2,839	4,393	2,352	96	9,682	2,178	11,860
減価償却費及び償却費	△1,549	△2,400	△3,031	△2,616	△9,598	16	△9,582
受取利息	280	43	102	166	592	△289	303
支払利息	△321	△1,259	△467	△26	△2,075	289	△1,786
持分法による投資利益(△は損失)	—	656	△102	—	554	—	554
減損損失	—	—	△887	—	△887	—	△887

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。
2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。
3. 減価償却費及び償却費の調整額は、セグメント間の連結調整の影響額であります。
4. 受取利息及び支払利息の調整額は、セグメント間の連結調整の影響額であります。
5. 持分法による投資利益(△は損失)の調整額は、セグメント間の連結調整の影響額であります。

② 当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	46,318	112,577	32,431	18,332	209,659	—	209,659
セグメント間の内部売上収益	17,578	104	473	83	18,240	△18,240	—
計	63,897	112,682	32,904	18,416	227,900	△18,240	209,659
セグメント利益(営業利益)	5,074	5,860	3,143	2,138	16,216	△1,568	14,648
減価償却費及び償却費	△1,793	△2,573	△3,372	△2,132	△9,871	89	△9,782
受取利息	276	79	86	73	515	△299	215
支払利息	△354	△1,257	△359	△24	△1,996	299	△1,696
持分法による投資利益	—	932	140	—	1,072	—	1,072
減損損失	△868	△438	—	—	△1,307	—	△1,307

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。  
 2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。  
 3. 減価償却費及び償却費の調整額は、セグメント間の連結調整の影響額であります。  
 4. 受取利息及び支払利息の調整額は、セグメント間の連結調整の影響額であります。  
 5. 持分法による投資利益の調整額は、セグメント間の連結調整の影響額であります。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

- ① 前連結会計年度において、報告セグメント「アジア」を構成しておりました、当社連結子会社H-ONE India PVT., Ltd. については、2025年3月の株式譲渡に伴い、前連結会計年度において連結の範囲から除外しております。このため、第1四半期連結会計期間より報告セグメント「アジア」から除外しております。  
 ② 第1四半期連結会計期間から、報告セグメントごとの経営成績をより適切に把握するため、セグメント利益を税引前利益から営業利益に変更しております。この変更に伴い、前連結会計年度は変更後の測定方法を用いて記載しております。  
 ③ 第3四半期連結会計期間から、KTH Texas, Inc. を連結子会社に含め「北米」に加えております。  
 ④ 第3四半期連結会計期間において、肇慶愛機汽車配件有限公司は清算を結了しており、「中国」から除外しております。

(1株当たり情報)

普通株主に帰属する基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	10,728	10,974
期中平均普通株式数(千株)	28,025	28,135
希薄化性潜在的普通株式数(千株)：株式給付信託(BBT)	365	255
希薄化後の期中平均普通株式数(千株)	28,391	28,390
1株当たり当期利益(円)		
基本的1株当たり当期利益	382.82	390.06
希薄化後1株当たり当期利益	377.89	386.55

(重要な後発事象)

該当事項はありません。